

街にながれるクリスマスソングに心浮き立つ季節。庭先やエントランスの飾り付けはもうお済みですか？ポインセチアの深い赤色をポイントにしたクリスマスらしい寄せ植えを一鉢置くだけでも、道行く人が目を止める素敵な演出になります。

■ポインセチア ウィンターローズ

その名の通り、深紅のバラの花のようなポインセチア。今冬は、比較的小安く店頭に並んでいるようです。通常のポインセチアよりもやや寒さに強いので、軒下などであれば出しっぱなしでも大丈夫。室内に置く場合は、暖房の風があたらないように注意しましょう。ヒラヒラした花びらと葉が上品な印象を与える、右写真のような品種もあります。



■カランコエ

ベンケイソウ科、別名:ベニベンケイ。本来は早春から咲く春の花ですが、近頃は改良によって、四季咲きのように1年中見かけます。多肉の葉も特徴的。寒さにはあまり強くないので、冬は陽の当たる室内で管理するのがベストです。



■ガーデンシクラメン

従来のシクラメンとは違って、戸外でも越冬できる品種です。今や、クリスマスシーズンの寄せ植えには欠かせない存在となりました。花が終わりかけると、長く伸びた茎が地面に垂れ下がり見た目に悪いので、茎の根元から抜いてしまいましょう。そこからやがて新しい花芽が出てくるはずですよ。



■姫ヒイラギ

トゲトゲとした葉が特徴のひいらぎ。日本の「ヒイラギ」はモクセイ科。クリスマスホーリーと呼ばれる「西洋ヒイラギ」(右写真)はモチノキ科と、実は別の植物です。姫ヒイラギは、別名:奄美ヒイラギ。モチノキ科ですが、大きくは育ちません。寒さにあまり強くないので、庭植えよりも鉢で。水のやりすぎに注意。



■コニファー(サマースノー)

今回使ったのは通称「サマースノー」というコニファー。雪がつもったような微妙な色合いの変化が、クリスマスの寄せ植えにはぴったりです。



寄せ植え例



ポイント

ポインセチアの中でもゴージャスな印象のウィンターローズという品種をセンターに、周囲を緑につもった雪のイメージの植物でまとめます。シンプルなかんじに華やかさがある一鉢です。

管理

霜と雪にあたらないように注意が必要です。ポインセチアは特に風には弱いので、夜間は室内で管理した方が安心です。水のやりすぎで根をカビさせないように。